

植物由来成分「グリチルリチン酸ジカリウム (GK₂)」と

「スギナエキス」の歯周炎抑制効果について

(医系科学研究科 教授 宮内睦美)

歯周炎は、進行性の骨破壊を伴う感染性／炎症性疾患で、宿主防御反応として産生される TNF- α をはじめとする炎症性サイトカインが発症や進行に重要な役割を担う。したがって、歯周炎発症予防や病態進行の抑制には、炎症性サイトカインを適切に制御する必要がある。グリチルリチン酸ジカリウム (GK₂) は、抗炎症作用を有する成分として汎用され、炎症局所での TNF- α 産生を抑制する。このような抗炎症成分に対して、超高齢化社会を迎える中で進行した炎症を抱える高齢者も増加していることもあり、より高い抗炎症効果が求められている。アース製薬株式会社との共同研究で、GK₂ の抗炎症効果を増強する植物抽出物の探索と、その増強機序の解明を行い、GK₂ とスギナエキスが別々の経路で、相加的に TNF- α 産生を抑制することを明らかにした。

この知見は学術論文として発表され (Anti-inflammatory effect of glycyrrhizin with *Equisetum arvense* extract, Shiba F. *et al.*, *Odontology*, 2021, 109:464–473. doi: 10.1007/s10266-020-00563-3.)、アース製薬株式会社の歯ぐきケア製品に活用され、店頭販売されています。

アース製薬株式会社ホームページ <https://www.earth.jp/oral-care/index.html>

